

神海丸だより H 28 年度 多目的航海 第2号

2016.5.27

【神海丸の動静】

5月25日(水)8時50分 神戸を出港し、27日(金)15時15分 那覇(新港)に入港しました。浜田出港直後に前線の通過の影響で悪天候に遭遇しましたが、その後は天気と風に恵まれ、朝のラジオ体操は毎日実施することができています。沖縄は梅雨の晴れ間ということで、気温は30度を超す暑さとなっていますが、生徒達は全員元気に実習に取り組んでいます。乗船してから2週間が経ちましたが、まだまだ先は長くこれからです。今後も生徒達の健康状況には十分注意しながら、安全な航海実習に心掛けて参ります。

1. 高松 → 神戸間の航海の様子



イグジス(電子海図)のモニター画面を使っての二等航海士による明石海峡航路の説明。



全長 3,911m 桁下高さ 65m、世界最長の明石海峡大橋を眺め、スケールの大きさを実感！



コンパステッキでは海図を見ながら瀬戸内海の重要な各航路の学習を行ないます。

2. 神戸港停泊中の様子



6:30 青空の下での朝のラジオ体操。(神戸港第2突堤岸壁)



神戸港での企業(船会社)説明会の様子。実習生全員が真剣に話を聞き理解を深めました。



生徒食堂での船内学習。生徒達は上級の海技士免許の取得を目指し、毎日意欲的に勉強に取り組んでいます

3. 神戸 → 沖縄間の航海の様子



那覇港入港前に消火・防水訓練を実施。短時間で迅速に避難集合場所に集合完了！



機関室内の防水扉の開閉動作を確認。各グループに分かれ、開閉操作を実施。(防水操練)



那覇(新港)岸壁着岸時。一年生は船橋甲板に整列し、着岸時の船首、船尾作業を見学。

※ 次の第3号は、沖縄での生徒達の様子を中心に「神海丸だより」を編集する予定です。